

1 特別調査の目的と概要

1.1 特別調査の目的

特別調査は、カモシカの保護管理のための基礎調査のひとつである。本調査では、カモシカの分布や生息密度、個体群動向などの生息状況や、植生、土地利用状況などの生息環境について総合的な資料収集を行い、調査対象地域（カモシカ保護地域及びその周辺）におけるカモシカの保護管理政策の検討材料をとりまとめることを目的としている。

第5回白山カモシカ保護地域特別調査では、第1回特別調査（1985～1986年度（昭和60～61年度）：富山県教育委員会ほか, 1987）、第2回特別調査（1991～1992年度（平成3～4年度）：富山県教育委員会ほか, 1993）、第3回特別調査（1998～1999年度（平成10～11年度）：富山県教育委員会ほか, 2000）及び第4回特別調査（2006～2007年度（平成18～19年度）：富山県教育委員会ほか, 2008）の結果を踏まえ、当地域におけるカモシカの保護管理について検討するため、カモシカの生息状況や生息環境等に関する資料を収集した。また、第5回目となる今回の調査をモニタリングと位置づけ、過年度の調査結果との比較を行い、生息状況や生息環境等の変化について考察した。

1.2 調査項目と調査内容

特別調査及び通常調査の調査項目と調査内容については、『カモシカ保護管理マニュアル』（文化庁文化財保護部記念物課, 1994）にガイドラインが示されている。

主要項目は、以下のとおりである。

1. 特別調査

- (1) 生息状況調査
 - 1) 分布調査
 - 2) 生息密度調査
- (2) 生息環境調査
 - 1) 森林概況調査
 - 2) 土地利用状況その他に関する調査
 - 3) 食害調査
- (3) 個体群動向に関する資料の蓄積
 - 1) 死亡個体に関する資料の収集と分析
 - 2) 通常調査資料の整理

2. 通常調査

- (1) 生息概況調査
- (2) 生息環境概況調査
- (3) 食害概況調査

生息状況調査では、調査対象地域におけるカモシカの分布と生息密度の現況を把握し、過年度の調査結果との比較を行った。生息環境調査では、地域概況、土地利用状況、森林概況、植生状況、林業動向、法的土地利用規制状況、食害発生状況等についての資料を収集し、カモシカの生息環境とカモシカによる食害発生状況を把握した。また、カモシカの死亡個体の分析では、2007～2014年度（平成19～26年度）の8年間に報告された滅失届の整理を行い（2007～2008年度分は参考値として整理）、カモシカ個体群の動向に関する資料を蓄積した。このほか、2008～2013年度（平成20～25年度）の6年間に実施された通常調査結果の整理を行った。

ガイドラインに基づいた調査項目と主なとりまとめ項目を図1.1に示す。

1.3 調査対象地域

調査対象地域（以下、調査地域）は、第1回特別調査時より、標準地域メッシュシステム（行政管理庁公示143号「統計に用いる標準地域メッシュ及び標準地域メッシュコード」,1973）による第3次地域区画（以下、3次メッシュ）を単位として、カモシカ保護地域の外縁に沿って設定している地域で、面積は、約1,030km²である。基本的には、東西の主要部分を庄川及び手取川の形状に沿って、他の部分については任意に設定しており、保護地域に関連する市町村は、富山県は南砺市（旧福光町、旧上平村）、石川県は金沢市、白山市（旧河内村、旧吉野谷村、旧尾口村、旧白峰村）、福井県は大野市（旧大野市）、岐阜県は白川村、高山市（旧荘川村）の6市村（旧10市町村）である。

また、調査項目のうち、林業的土地利用や食害発生状況については、保護地域関係市町村（もしくは、関係森林管理署所轄国有林）を、カモシカの死亡個体の分析については、庄川以西、九頭竜川以北で能登半島を除く地域（以下、白山地域）を対象とした。

各県ともに市町村合併による市町村の名称や範囲の変更がみられるが、本調査はモニタリング調査と位置づけており、前回と同様の市町村単位で集計することが望ましいと考えられるため、原則、旧市町村単位での集計を行った（大野市については合併後に名称が変更されていないため、合併前後を区別するために「旧」を市名に冠して用いることとした）。

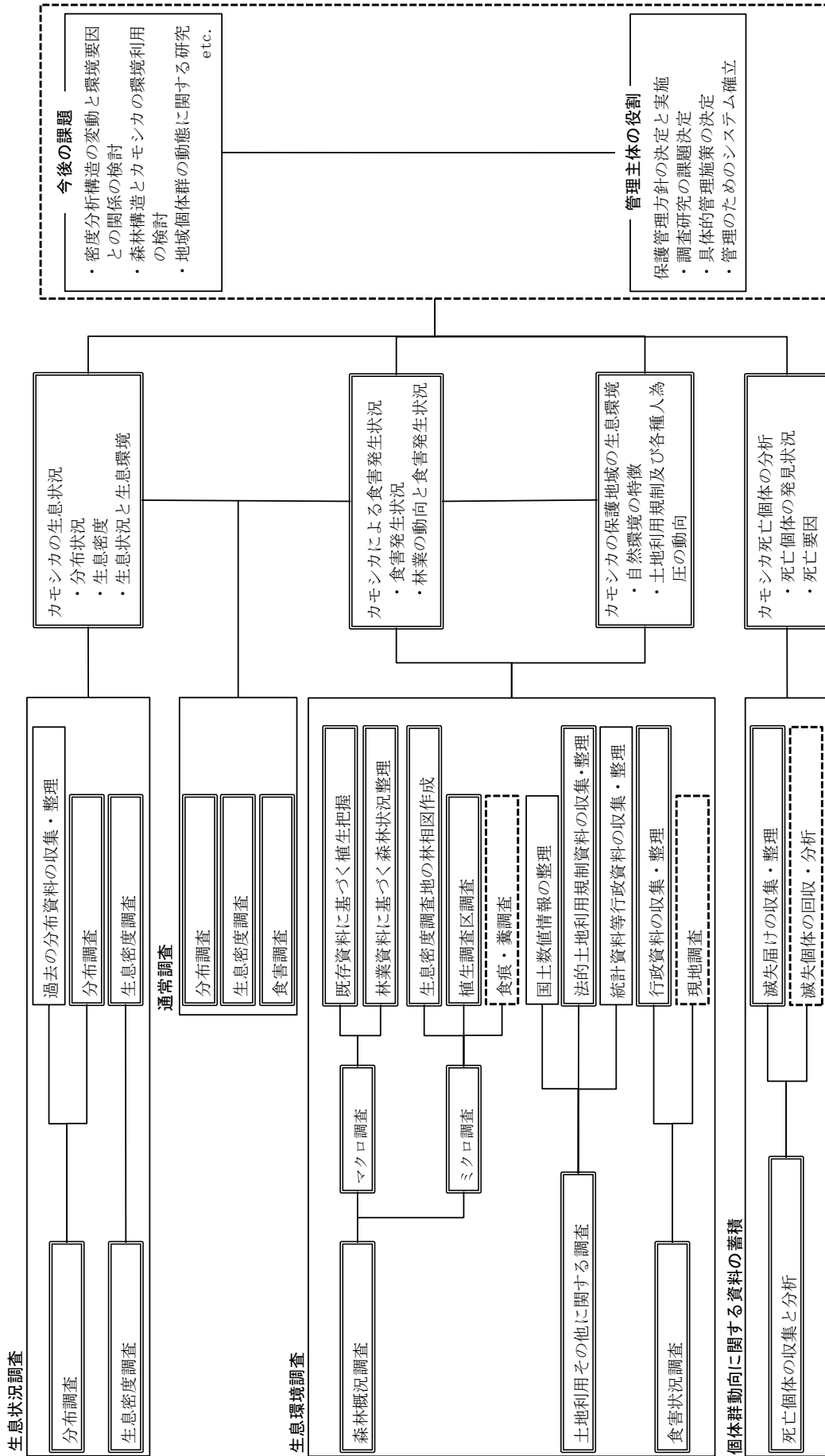
なお、調査結果等の図面作成に際し、過去4回の特別調査報告書では、3次メッシュの測地系として日本測地系を使用していたが、今回は、世界測地系（JGD2011）を用いた。日本測地系と世界測地系における面積はほぼ変わらないが、3次メッシュは全体に北西へ400m前後ずれる。また、通常調査の結果等、日本測地系で記録された結果についても世界測地系に置き換えて整理した。

調査対象地域を図1.2に示す。

調査項目

とりまとめ項目

今後の課題と管理主体の役割



今回の実施項目
 前回までの結果を今回も使用した項目
 今回実施しなかった項目

図 1.1 特別調査の内容に関するフローチャート

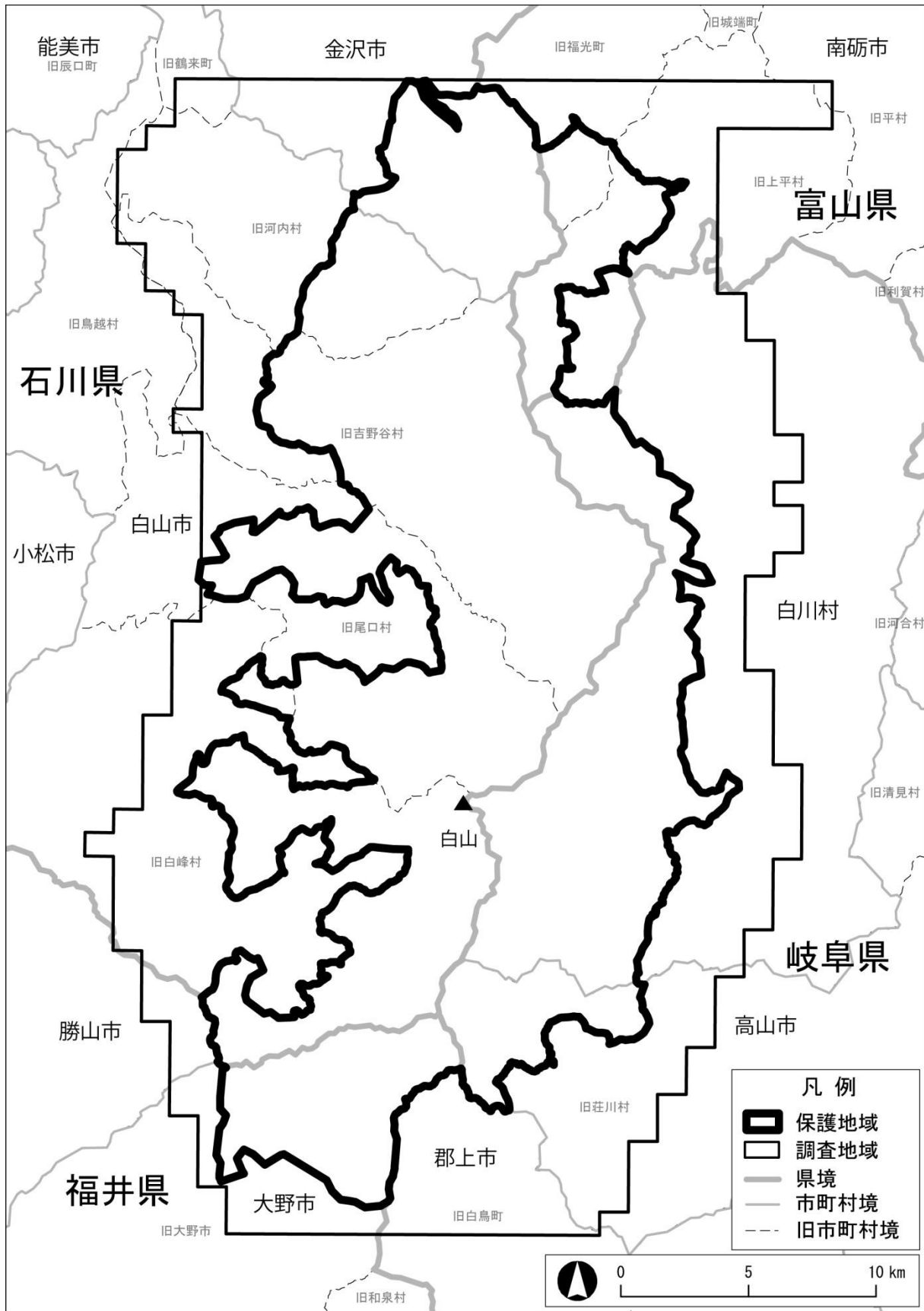


図 1.2 調査対象地域